

地域連携担当研修会

6月4日（火）、大河原教育事務所を会場に地域連携担当研修会を開催しました。今年度の研修会は2部構成で行いました。

前半の講話では、白石市立白石南中学校 教頭 中出 政美 氏、七ヶ宿町立七ヶ宿小学校 教頭 伊藤 克巳 氏、川崎町立富岡中学校 教頭 菊地 英樹 氏の3人の教頭先生方を講師にお迎えし、「地域とより良く連携するために、担当として何をすべきか」と題してパネルディスカッションを行いました。講師の皆様は、学校での地域連携担当教員として、自治法派遣社会教育主事(行政職員)として、教頭(管理職)としてという立場を経験されている皆様です。それぞれの立場から見える連携・協働に欠かせない視点について、楽しく分かりやすくお話いただきました。

後半の事例紹介では、「私の学校では、こんな活動をしています」と題してグループワークを行いました。校種や立場、自治体が同じ方同士、異なる参加者同士とグループ編成を変えながら、各校で取り組まれている活動の紹介を通して、これからの地域学校協働活動を充実させるためにどのようなことが考えられるか、活発な意見交換が行われました。



講話(パネルディスカッション)「地域とより良く連携するために、担当として何をすべきか」 (参加者の声)

- ・「あるもの探し」「あるもの生かし」という言葉が印象に残りました。地域の中にある良さをしっかりと見つめることで、地域の方と繋がり、子供たちの地域への愛着を深めることができると感じました。
- ・地域連携担当者として必要な資質・能力や、今後身に付けていかななくてはならないもの、大切にしていかななくてはならないものが明確になりました。
- ・実際に社会教育主事をしていた頃の貴重な経験を話していただき、これからの地域連携を担当していくなかで、心がけていこうと思えることがたくさんありました。特に地域の方や行政の方といろいろ話をしてみるところから始めていきたいと思います。
- ・今までの実践を聞くことができて、参考になりました。ひと、もの、ことを大切にし、コミュニケーション力と行動力を身につけたいと思いました。
- ・日常にある魅力を発見するという視点から地域に目を向けることで、地域(保護者)と学校の資源を有効活用できると感じました。先生方のお話から、まずは、教職員が人と関わろうとする気持ちや、地域の人々に思いを馳せることができる土壌づくりを、地域連携担当が率先して行っていくことが大切であると実感することができました。

事例紹介(グループワーク)「私の学校では、こんな活動をしています！」 (参加者の声)

- ・地域性や規模の違う学校の話はとても興味深かったです。それぞれの悩みがあることが分かりました。
- ・どんなところに困っているのか、意見を聞くことができました。また、どのように学校へ働きかけをしているのか、お話を聞いてとても良い時間になりました。
- ・それぞれの学校でしている様々な取組を知ることができ、良い機会になりました。地域によって本当に様々な取組があり、どの取組も魅力的だと感じました。
- ・市町の実態や地域の特色に合わせて、様々な取組がなされているのが分かりました。また、そこには、様々な関係機関、人々とのつながり、歴史などを感じることができました。
- ・それぞれの町や学校で特色ある活動をしており、連携するうえでの大変さや課題はそれぞれあるのだと感じました。その上で、自分の地域や学校では、これができそうと思えるものや共感できる部分がありました。
- ・自分の学校で取り入れられることを探りながら、お話を聞くことができました。他校の独自の在り方に刺激を受けました。

研修会の感想 (参加者の声)

- ・どの活動をするにも、子供にとっての学びとは何かについて、共に考え、学校と地域双方が喜びを共有できるような仕組みづくりを、積極的に行っていきたいと思います。〔小・主幹教諭、教諭〕
- ・ないものを考えるのではなく、あるものを見つける気持ちで行動していこうと思います。〔中・主幹教諭、教諭〕
- ・先生方と行政職員一緒にの研修で大変参考になり面白かったです。研修可能な限り学校へ足を運んでみたいと思いました。〔市町職員〕
- ・大変勉強になる研修会に参加させていただきました。地域・学校とのコミュニケーションを密に取り合うことの大切さを学ばせていただきました。今後の協働教育活動の参考にさせていただきます。〔コーディネーター〕
- ・アイスブレイクやグループメンバーを探す活動、様々な視点の助言など、講話やグループワーク以外の部分でも勉強になりました。〔地域連携担当教員〕

